

事業所名

田原市児童発達支援センター

支援プログラム

作成日

6年

10月

1日

法人（事業所）理念	児童が「楽しい！」と思う気持ちを大切に児童自身が意欲を持てるように関わり、心と体の成長発達を促します。					
支援方針	言葉や人との関わり、身辺自立など発達に心配のある就学前の児童を対象に発達に合わせ、それぞれの良さを活かしながら個別活動や集団遊びを通して支援を行います。					
営業時間	8時	30分	17時	0分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	【基本的な生活スキルの獲得】清潔な身の回りや食事、衣服の着脱、排泄などの基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。 【構造化等による分かりやすい環境設定】障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化し、見通しを持って取り組める工夫をします。				
	運動・感覚	【姿勢・運動・動作の基本的技能の向上】運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。 【保有する感覚の活用】視覚、聴覚、触覚、前庭覚、固有覚といった基礎感覚を活用する遊びを通して感覚の統合を促進し、場面に応じた感覚の調整や注意の向け方が習得できるようにします。				
	認知・行動	【認知や行動の手がかりとなる概念の形成】物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間、時間などの概念の形成を通じて認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 【行動障害への予防及び対応】感覚や認知の特性から生じる行動障害の予防や適切な対応を支援します。				
	言語 コミュニケーション	【言語の形成と活用】具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、体系的な言語の習得や自発的な発言を促進します。 【人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得】個々に合わせた状況での相互作用を通じて、共同注意などのコミュニケーション能力の向上を支援します。 【指さし、身振り、絵カード等を活用】指さしや身振り、絵カード等を活用して、環境の理解や意思の伝達を支援します。				
	人間関係 社会性	【アタッチメントの形成と安定】人との関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 【遊びを通じた社会性の発達】遊びを通じて模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。 【自己理解と感情コントロールのための支援】自己の行動や感情を理解し、コントロールできるよう支援します。 【小集団活動への基盤作り】一人遊びから共同遊びへの移行を促し、社会性の発達を支援します。				
家族支援	職員や児童発達支援管理責任者との面談を通して、児童の発達状況や特性の理解、困りごとへの対応方法などの相談援助を行います。 ・保護者交流会 ・保護者勉強会 ・ペアレントプログラム ・OB会 ・専門職による相談 等	移行支援	保育園、認定こども園と連携を図り、必要に応じて訪問をし日常生活における支援の他、行事等の際には一緒に支援について考えます。また、園の職員に児童発達支援センターでの様子を見てもらう機会を通して園での支援の参考にしてもらいます。就学予定の小学校と連携を図り、児童の情報共有等を行います。			
地域支援・地域連携	保育園、認定こども園、学校、田原市役所の健康課・地域福祉課、近隣の病院、福祉サービス事業所、田原市障害者総合相談センター、相談支援事業所等の関係機関と連絡を取り合い必要な情報収集、情報提供等を行います。	職員の質の向上	外部講師によるスーパーヴィジョンや訪問療育等で職員研修等を行い、障害への理解を深めたり新しい支援方法を学んだりします。カンファレンスを定期的に行い、現状の支援方法について検討及び情報共有をします。職員の外部研修への参加を奨励します。			
主な行事等	・はじまりの会 ・遠足（春・秋） ・家族参観（年2回） ・プール開き ・七夕会 ・縁日遊び ・運動会 ・クリスマス会 ・豆まき遊び ・ひなまつり会 ・お別れ会 ・内科健診（年2回） ・避難訓練（毎月） ・身体測定（毎月）					